

令和3年度北海道文化服装専門学校 自己評価

(評価対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

【北海道文化服装専門学校の学校評価の進め方について】

本校では、学校評価を行うにあたり、教職員が評価表を記入し、その評価内容を集約したものを自己評価としている。その後、この自己評価は学校関係者評価委員会において、各委員より意見聴取をする上での参考資料としても活用されている。

1. 学校の教育理念

- ① ファッション産業の発展に伴い、社会ニーズに必要な人材を育成するために「服飾・ファッション業界を目指す人には豊かな学習環境と教員の質の向上を目指す」を理念とする。
- ② 「建学の精神」「教育目標」のもと学生たちの夢と希望を叶えられるよう、企業と学校が連携し、時代が要請するような高度な専門性を持った即戦力となる人材育成をする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ① 服飾・ファッション教育の伝統校として、全学科教育内容の充実と企業と連携した各科目の実践的な教育を実施する。インターンシップによる企業実習。企業の講師による講義など業界で率先力となるレベルまで育成する。
- ② 職業実践教育課程認定にふさわしい、学校運営に関する各種制度及び規定関係を整備し学校運営体制を見直し、専門学校としての充実を目指す。
- ③ 各ファッションコンテストに学生を挑戦させる。
- ④ 各種検定資格の合格率向上のため指導強化に努める。
- ⑤ 就職率向上のため、就職指導には学生の能力や適性を見極め、担任、就職担当の協力体制を活かす。
- ⑥ 教員の質向上のため、各自の研鑽、資格取得する。学校は研修会に参加させ教育の質向上に務める。
- ⑦ 知識、技術を身に付けるばかりではなく、学生が主体的、自主的に行動できるように育成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1	今回
1 ・教育理念・目的・育成人材像は定められているか	3 2 1	2.69
2 ・教育理念・目標・育成人材像について、学生や保護者に伝えるよう努めているか	3 2 1	2.54
3 ・学校における職業教育の特色は明確になっているか	3 2 1	2.62
4 ・各コースで育成しようとしている人材像は、今後の各業界の方向性に沿ったものになっているか	3 2 1	2.54

教育理念・目標の項目については、全ての項目で評価点は高い水準にある。学生の職業観にズレが生じていると感じることがあるとのこと、シラバスは毎年度精査して修正すべきであるとの意見があった。

(2) 学校運営

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
5	・教育理念・目標に沿った運営方針を策定し、事業計画に反映されているか	3	2	1	2.38
6	・組織運営や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか	3	2	1	2.00
7	・教務・財務等の組織体制は、規則等において明確化されているか	3	2	1	2.46
8	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3	2	1	2.15
9	・ホームページやSNS等により、各種の教育活動を積極的に公開または紹介されているか	3	2	1	2.54
10	・毎年、自己評価を実施し、その結果を踏まえて、学校全体で改善に取り組んでいるか	3	2	1	2.23
11	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	1	2.15

学校運営の項目については、全ての項目で評価点があまり高くなかった。自己評価については、実施後に改善策や方向性に関して職員一同での話し合いが必要であるとのこと、就業規則の改定に関しては、一定の評価をするが、より良い労働環境の整備に向けての継続的な改善が必要であるとのこと、教員の事務作業の多さの改善策として、パート職員等を雇用してはどうかとのこと、依然として紙業務、特に学籍簿などの個人情報の効率化が進んでいないため進展させてほしいとのこと、SNS等をもっと活用すべきとの意見があった。

(3) 教育活動

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
	○ 学生に対しての教育活動				
12	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	3	2	1	2.54
13	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保が図られているか	3	2	1	2.31
14	・学科のカリキュラムや関連分野における実践的な職業教育は、体系的に編成されているか、また教育方法に工夫がなされているか (産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)	3	2	1	2.54
15	・授業評価を実施し、その評価をカリキュラム等に反映する体制はあるか	3	2	1	2.54
16	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	2	1	2.62
17	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	2	1	2.69
18	・資格取得等に対する指導体制は、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	3	2	1	2.62
	○ 教員に対しての教育活動				
19	・教員の知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	2	1	2.31

教育活動の項目については、概ね高い評価点であった。他の項目と比較して、多くの意見が挙がっている。まず、学生に対しての教育活動としては、アパレル各職種においてデジタル化が進んでいるので、それに対応すべくカリキュラムの見直しが必要との意見があった。

次に教員に対しての教育活動については、近年はコロナ禍の中という状況もあったが、研修会等への参加の機会を増やしてほしいとの意見が多く、また、費用等についても学校に補助して欲しいとの意見が多かった。

(4) 学修成果

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
20	・就職率の向上のために情報の提示や学生の相談にのっているか	3	2	1	2.62
21	・資格取得の向上についての取り組み方やコンテスト等への参加を支援しているか	3	2	1	2.62
22	・退学率の低減のために、学生の相談にのっているか	3	2	1	2.54
23	・卒業生・在校生の社会的な活躍や評価を把握し、活躍を応援しているか	3	2	1	2.54

学修成果の項目に関しては、全ての項目で評価点は高い水準にある。学生と対面で話せる機会が欲しいので、面談を行う必要性を感じているとのこと、コンテスト等で材料費がかかるため、資金的な援助が必要であるとの意見があった。

(5) 学生支援

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
24	・進路・就職に関する支援は行われているか	3	2	1	2.54
25	・奨学金等の修学支援についての案内や手続きの支援は行われているか	3	2	1	2.85
26	・学生相談や健康管理に関する支援は行われているか	3	2	1	2.69
27	・保護者との連携は適切だったか	3	2	1	2.23
28	・卒業生の相談等について対応をしているか	3	2	1	2.62
29	・中学校・高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	2	1	2.54

学生支援の項目に関しては、概ね高い評価点であった。中学・高校のキャリア教育である体験学習の受け入れを増やしてほしいとのこと、メンタルケアに関しては、担任だけに任せず、学校としてサポート体制を設けてほしいとのこと（例としては、保健の先生やカウンセリングの先生に相談できる日を設ける等）、また、希望者のみでもいいので、三者面談や二者面談を行ってはどうかとの意見があった。

(6) 教育環境

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
30	・施設・設備は教育の必要性に応じて整備されているか	3	2	1	2.46
31	・学内外の研修、インターンシップ、海外研修等について、適切な教育環境が整備されているか	3	2	1	2.38
32	・消防設備の整備・点検、避難訓練の実施等、防災に対する体制は整備されているか	3	2	1	2.00

教育環境の項目に関しては、あまり高い評価点ではなかった。令和3年度に冷暖房設備、PC機器・遠隔授業の機器等の整備を行ったことについては評価しているとのこと、次にミシン・アイロン等に関して、理想として1人1台使えるようにしてほしいとのこと、コロナ禍の中、避難訓練や防災訓練を行えていなかったのも、毎年、一定の時期に行えるようにスケジュールをたてて欲しいとの意見があった。また、車椅子で校内を移動できるようバリアフリー法を考慮した施設整備が必要ではないかとの意見もあった。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
33	・ガイダンスやオープンキャンパス等の学生の募集活動において、参加者が理解しやすいよう丁寧な説明ができたか	3	2	1	2.69
34	・学生の募集活動において、教育成果を正確に把握し、魅力ある学生生活を伝えることができたか	3	2	1	2.62
35	・学納金は、教育内容や教育成果を勘案して、納得のできる妥当な金額となっているか	3	2	1	2.38

学生の受入れ募集の項目に関して、概ね高い評価点であった。学納金については令和3年度の大規模な施設の整備（冷暖房、PC機器・遠隔授業機器等）を行ったため施設整備費を上げてもいいのではとのこと。そして、例年より退学者が少し多かった点に関しては、入学者にきちんと情報を提供するとともに、入学後は学生との細やかなコミュニケーションを取るよう心掛ける必要があるとの意見があった。

(8) 財務

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
36	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	2	1	2.23
37	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	2	1	2.15
38	・財務について会計監査が適正に行われているか	3	2	1	2.54
39	・財務情報等について、ホームページ等で公開しているか	3	2	1	2.62

財務の項目については、あまり高い評価点ではなかった。学校からの収支報告を受け、収支改善策を検討してほしいとのことや教員の待遇改善を求める意見があった。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1			今回
40	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	2	1	2.69
41	・学生の個人情報の取り扱いは慎重に行われているか	3	2	1	2.62
42	・自己評価結果をホームページ等に公開しているか	3	2	1	2.69

法令等の遵守に関する項目については、全ての項目で評価点は高い水準にある。自己評価の結果、改善を要する項目については、早急な改善を求めるとの意見があった。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1	今回
43	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3 2 1	2.31
44	・学生たちが社会に対して目を向け、社会や地域における自己の役割を認識し、活動できる人材となるよう呼びかけ、学生主体でのボランティア活動を奨励、支援しているか	3 2 1	2.15
45	・公開講座・出前講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を実施しているか	3 2 1	2.38

社会貢献・地域貢献の項目に関しては、あまり高い評価点ではなかった。学生主体でのボランティア活動の奨励については、どのような支援ができるかわからないとのこと、他のファッション校はわからないが出前講座が少ないと感じるため学生が継続的に当校へ進学してくる出身高には、継続的に行っても良いのではないかとのこと、これまで（コロナ禍前）は本来の学習を圧迫するほど、イベント、ボランティア活動が多かったことで、現在（コロナ禍中）ぐらいがちょうどいいのではないかとのこと、コロナ禍により社会と謝絶された環境での学校教育となっているため、学生が外での活動により様々な年齢層の方々とコミュニケーションをとれるようになれば良いのにとの意見があった。

また、奨励されるべき事案としては、今年の3月中旬に、学外で有志学生によるファッションショーが開催された。目的は、北海道のファッション業界を盛り上げたいとの思いで、学生自ら企業へサポート依頼を行い、実現した。活動内容は奨励できる内容であったため、雑誌「装苑」への掲載を依頼し、掲載してもらった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的な評価結果として、今年度より設問内容についての見直しを行ったことにより、単純に対前年度との比較ができない。財務内容について、依然として年度毎の収支が赤字のため経営について懸念がある等の意見があり、教育環境については、令和3年度に行った冷暖房の整備、PC機器・遠隔授業の機器等の整備が評価を受けている一方で、ミシン・アイロン等については、相変わらず台数不足との指摘を受けている。

学校運営については、就業規則等が改定されたことについては評価をしているが、今後、より一層、職員が働きやすい環境になるように継続的に見直しを進めてほしいとの意見もあった。